



平成20年4月25日

各 位

本 社 所 在 地 東京都港区赤坂三丁目21番20号
 会 社 名 株式会社キャリアデザインセンター
 代表者の役職名 代表取締役社長兼会長 多田 弘實
 (コード番号: 2410)
 問 合 せ 先 代表取締役副社長経営企画本部長 横田 和仁
 電 話 番 号 03-3560-1601
 (URL <http://type.jp/ir/>)

平成20年9月期中間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成19年11月12日付当社「平成19年9月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました平成20年9月期(平成19年10月1日～平成20年9月30日)業績予想及び中間業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年9月期中間期 業績予想数値の修正(平成19年10月1日～平成20年3月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	2,550	200	200	114
今回修正予想(B)	2,281	74	76	32
増減額(B-A)	△269	△126	△124	△82
増減率(%)	△10.5	△63.0	△62.0	△71.9
(ご参考)前期実績	2,610	527	529	306

2. 平成20年9月期通期 業績予想数値の修正(平成19年10月1日～平成20年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	5,850	850	850	495
今回修正予想(B)	4,760	143	145	70
増減額(B-A)	△1,090	△707	△705	△425
増減率(%)	△18.6	△83.2	△82.9	△85.9
(ご参考)前期実績	5,071	820	825	477

2. 修正の理由

日本経済は益々不透明感を増しつつあり、その結果、大手企業を中心に中途採用については一服感が見られ、費用対効果を重視する動きは一層強まってきております。

キャリア情報事業につきましては、上記のような厳しい営業環境であるにもかかわらず新規参入企業が加わり、競合状況は激化しております。そのため、当社におけるWeb求人広告単価は下落傾向にあり、取引社数は増えているものの単価の下落を補う事が困難な状況であります。また、今後の事業成長の支えとすべく大量に採用した営業職の新卒社員に関しましては着実に戦力化しておりますが、受注金額を大きく取ってきていたベテラン中堅営業職社員が前述の単価下落に予想以上の苦戦を強いられております。この他、情報誌求人広告については求人効果が計測しにくい媒体特性のため、媒体効果をシビアに見られる現環境下にあり営業に苦慮しております。以上の結果、キャリア情報事業の売上高については計画を下回る見通しとなります。一方、よりきめ細やか且つ効率的な営業活動を可能とするためのエリア制への移行が効を奏し始め、前述いたしましたように取引社数は増加傾向にあります。また、当社の女性系商品・サービス及び適職フェアは求人企業より高い評価を得て前年比を大きく上回り、計画通りに推移しております。トピックスといたしましては、平成20年1月に転職Webサイト『@type』をリニューアルいたしました。結果として求人広告効果が大幅に向上し、広告単価が下げ止まりの傾向になりつつある事、があげられます。

人材紹介事業につきましては、営業及びキャリアアドバイザーの採用を強化し戦力化はされつつありますが、求職者の登録者数及び登録から成約までのプロセス改善につきまして計画より遅れが見られ、その結果、売上は計画を下回る見通しとなりました。なお、当人材紹介事業部の通期の売上高につきましては計画未達の予想ではあるものの、前年の実績を大きく上回る見通しとなっております。

営業利益につきましては、前期に引き続き営業体制の強化を目的とし新卒者77名を採用したことにより人件費等関連費用への投資及びユーザー獲得・認知度の向上を目的とした前期同等の広告宣伝投資を行いつつ、業務の効率化やコストコントロールによる販売管理費の抑制を行ったものの、売上計画未達成による営業利益減少の幅が大きく、中間期においては126百万円減少の74百万円、通期では707百万円減少の143百万円となる見込みであり、利益面においても計画を下回ることとなりました。

当期純利益につきましては、営業利益の減少に加え、Webサイト『@type』のリニューアルに伴う旧システム除却費用として中間期において固定資産除却損19百万円を計上する予定であり、中間期においては82百万円減少の32百万円、通期では425百万円減少の70百万円となる見込みであります。

以上

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。